

. 調査データ等

1. アンケート調査結果

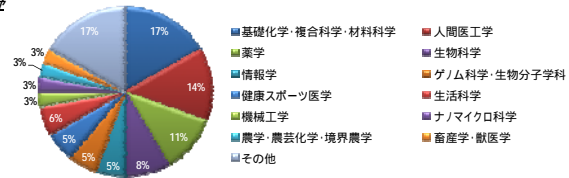
今後の医療関連産業振興施策に活かすため、県内の医療機関や大学、企業の従事者や研究者等に、医療関連の研究開発の状況や課題等について、アンケート調査を実施した。

実施日 23年9月9日～9月26日
 調査票送付先 1,349件
 ・県内大学等研究者 169件
 ・県内医療従事者 504件
 ・県内企業 676件

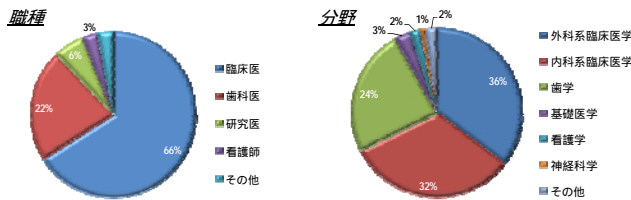
アンケート回答者プロフィール

大学等研究者調査 回答数36件(回答率21.3%)

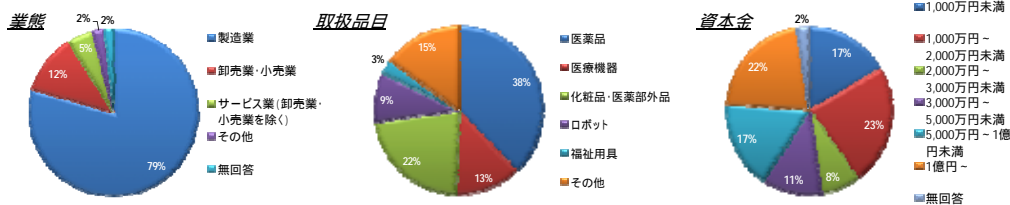
研究分野



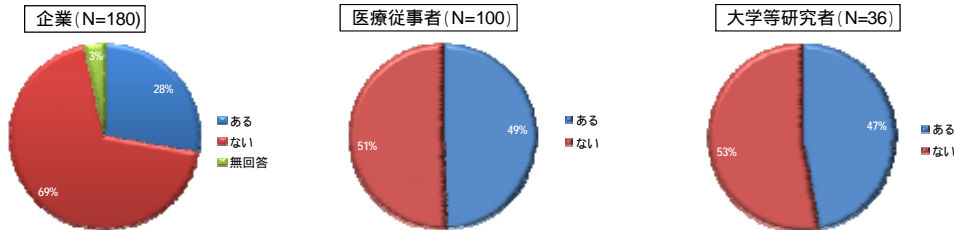
医療従事者調査 回答数99件(回答率19.6%)



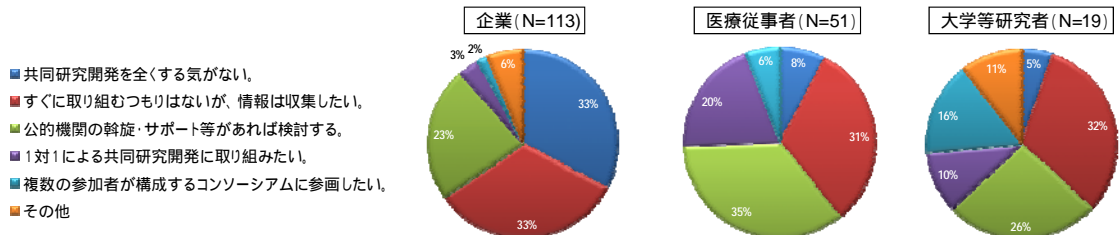
企業調査 回答数180件(回答率26.6%)



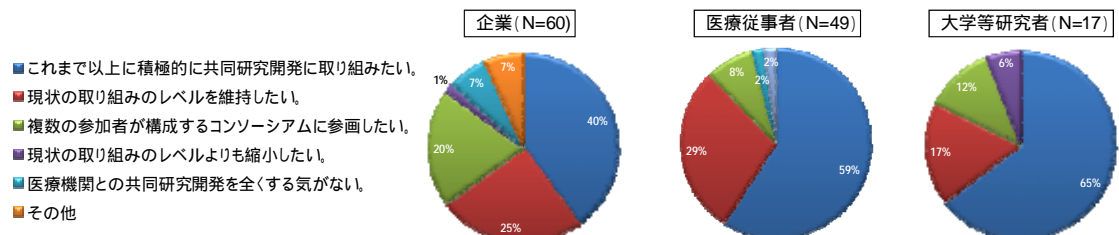
医療機関と企業・大学との共同研究開発の有無



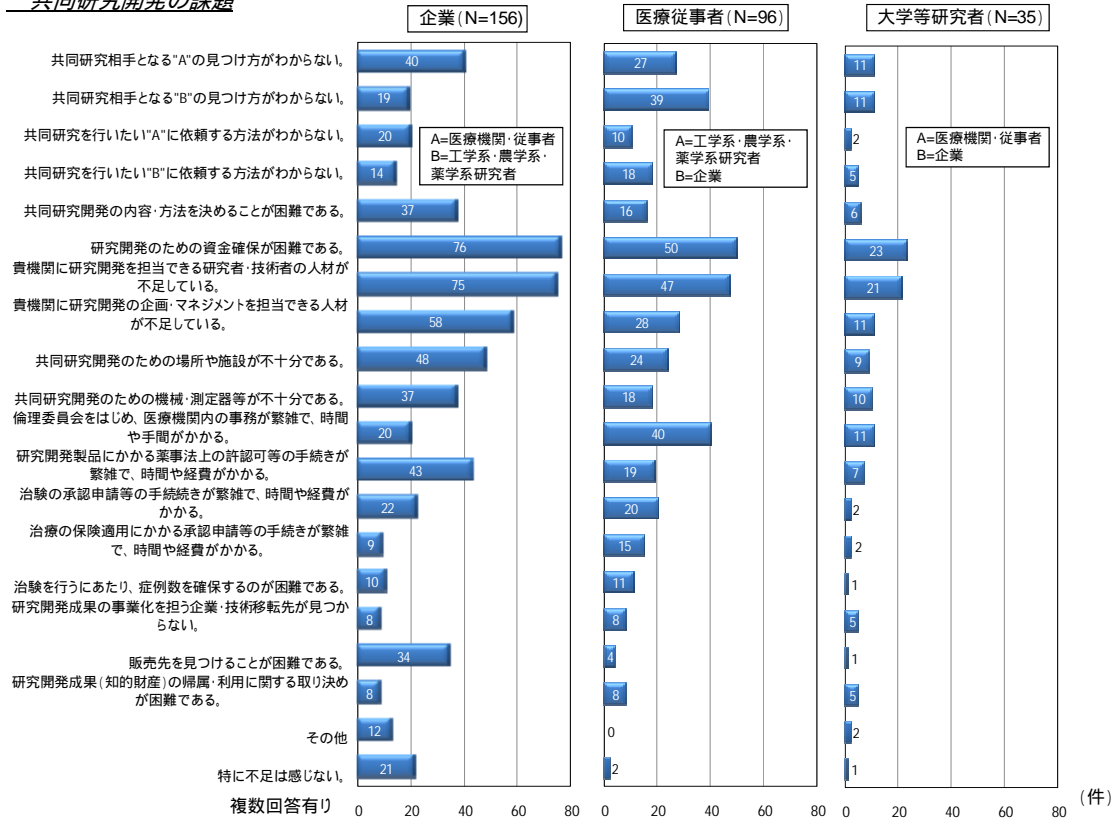
医療機関と企業・大学との共同研究開発に対する意見(共同研究開発未経験者)



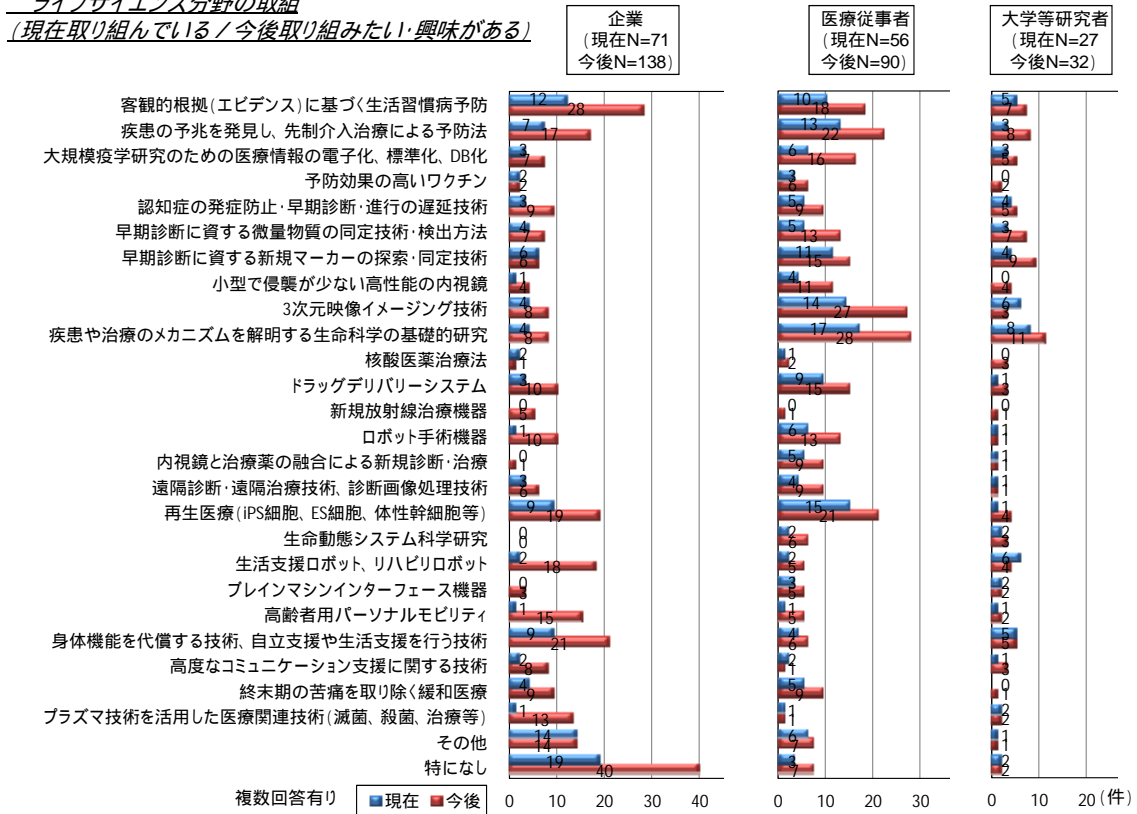
医療機関と企業・大学との共同研究開発に対する意見(共同研究開発経験者)



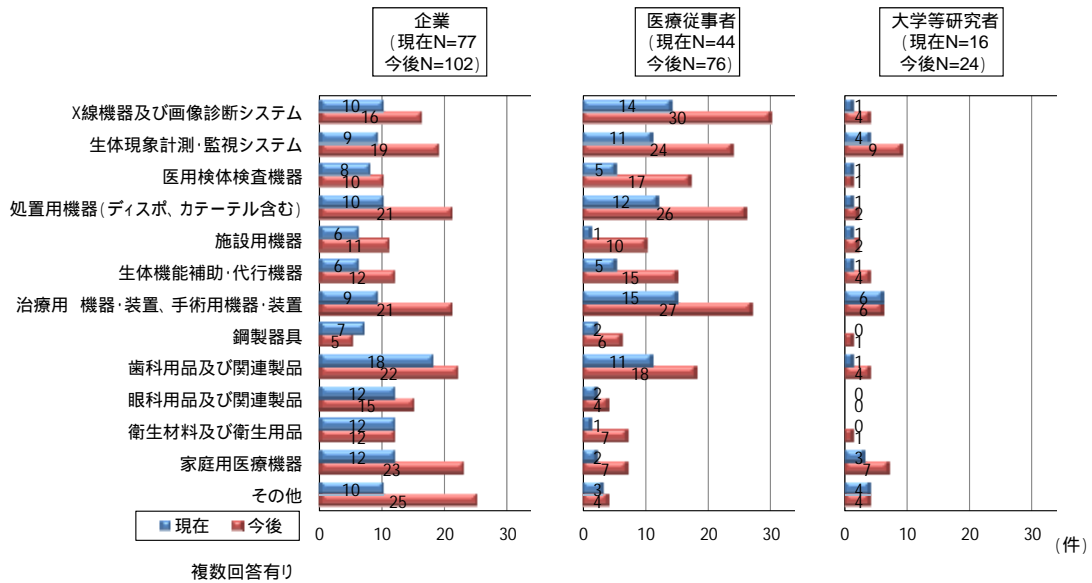
共同研究開発の課題



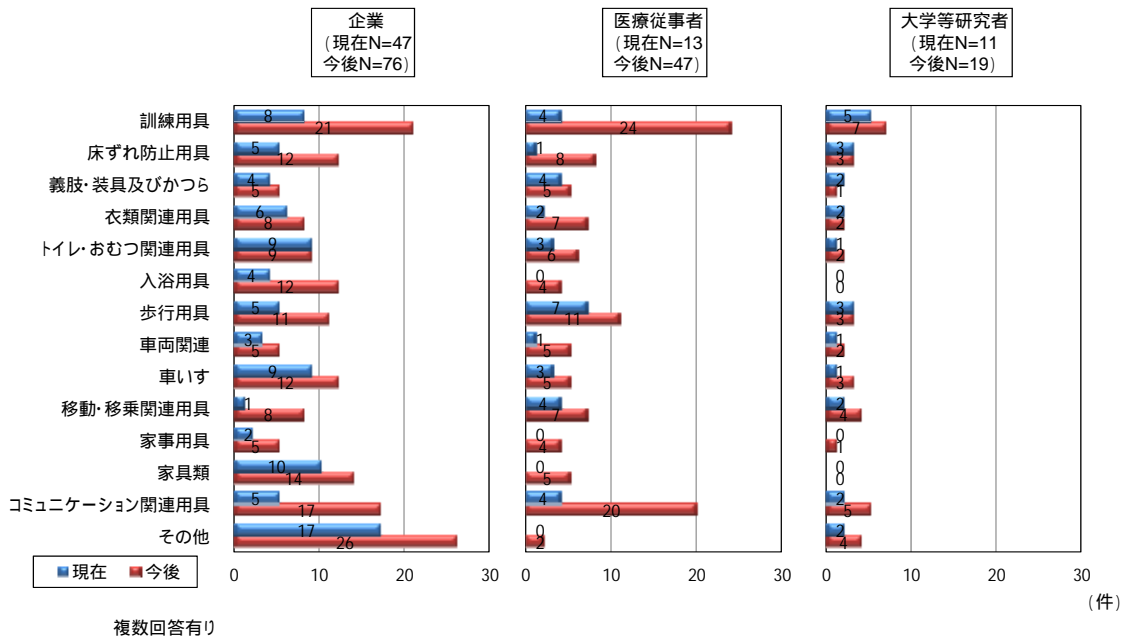
ライフサイエンス分野の取組
(現在取り組んでいる / 今後取り組みたい・興味がある)



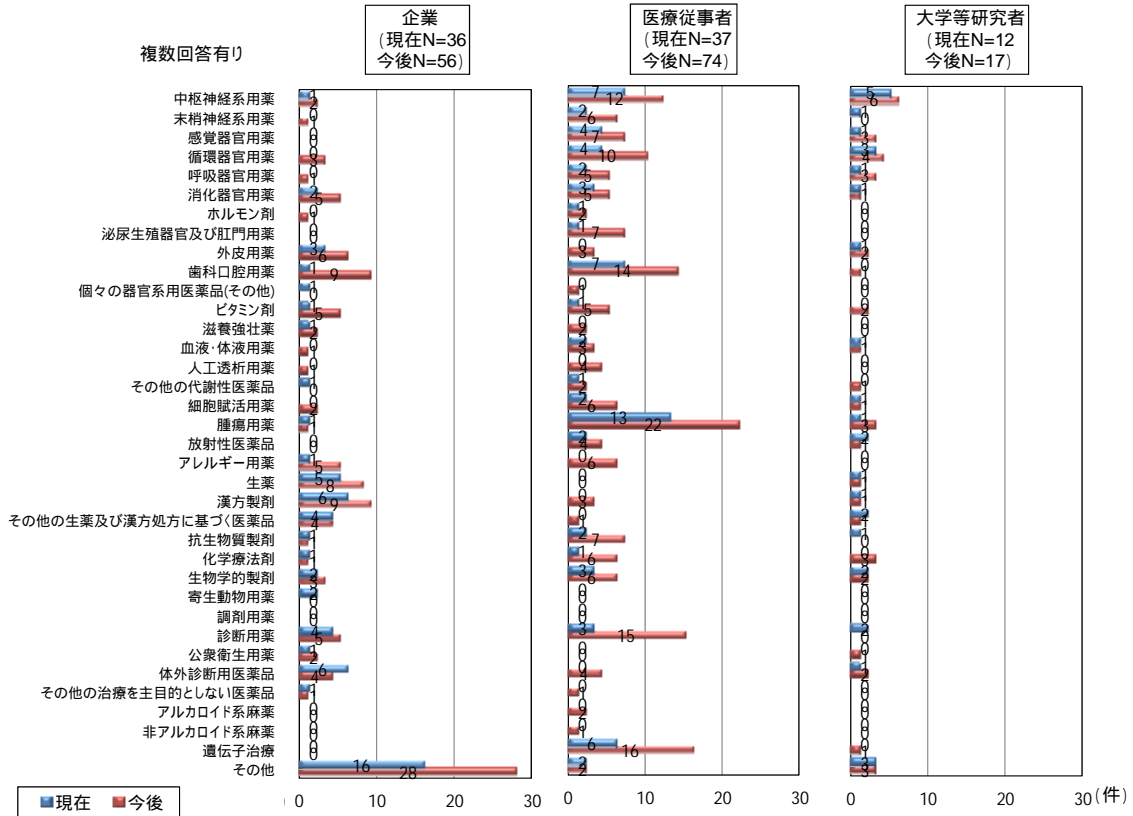
医療機器開発の取組
 (現在取り組んでいる/今後取り組みたい・興味がある)



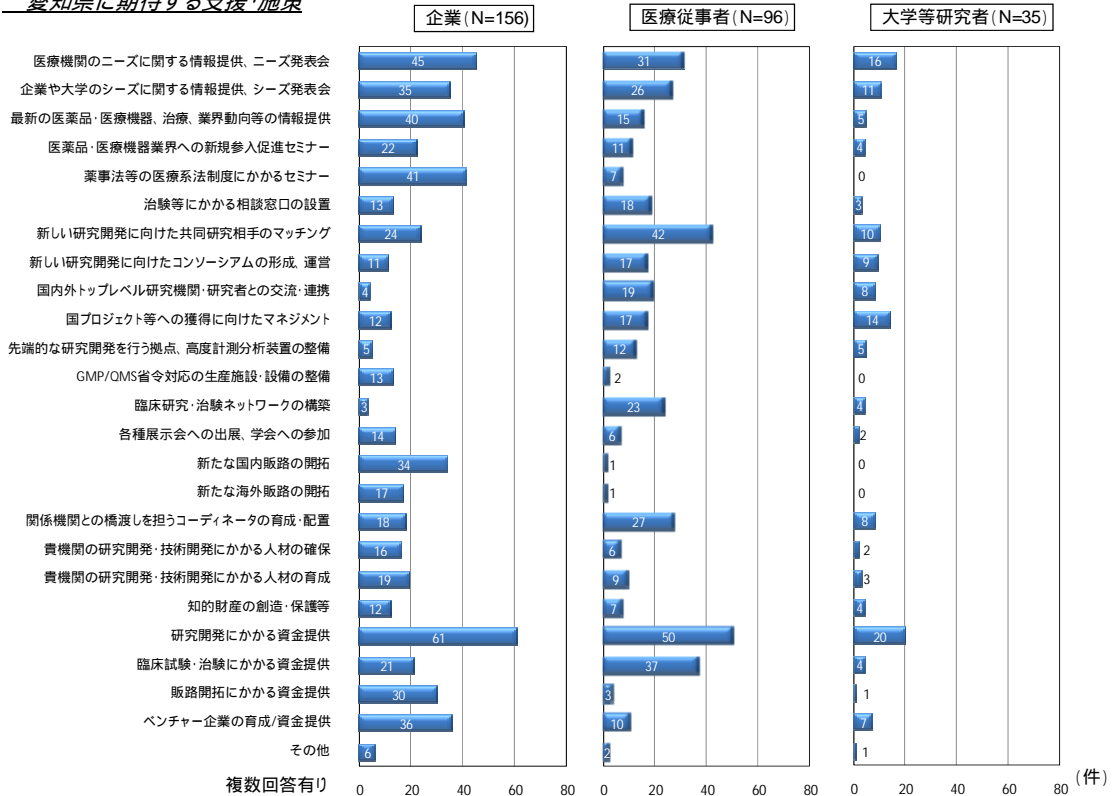
福祉用具開発の取組
 (現在取り組んでいる/今後取り組みたい・興味がある)



医薬品開発の取組 (現在取り組んでいる / 今後取り組みたい・興味がある)



愛知県に期待する支援・施策



【参考】アンケート調査票

県内大学・研究機関研究者向け

あなたのプロフィールについて

問1 あなたの主たる研究分野についてお聞きします。該当する番号を1つ選んで下さい。

1. 物理学・プラズマ科学	10. 生物科学
2. 基礎化学・複合科学・材料科学	11. ゲノム科学・生物分子学科
3. 応用物理学・工学基礎	12. 人間医工学
4. 機械工学	13. 健康スポーツ医学
5. プロセス工学	14. 生活科学
6. ナノマイクロ科学	15. 農学・農芸化学・境界農学
7. 情報学	16. 畜産学・獣医学
8. 環境学	17. 薬学
9. 基礎生物学	18. その他

医療機関（病院、医院、診療所等）との共同研究開発の取組状況について

問2 医療機関と共同で研究開発を行った経験はありますか？

1. ある → 問3へ	2. ない → 問5へ
-------------	-------------

問3 共同研究開発を行う場合の主な目的に該当する番号を、優先順に3つまで選んで下さい。

（問2で1の回答者のみ）

1. 新たな基礎医学・基礎研究	4. 貴企業の技術シーズの高度化・新製品開発
2. 医師等のシーズ・アイデアによる医療技術の高度化開発	5. 貴企業が開発した新製品の評価・実証
3. 医師等のシーズ・アイデアによる新製品開発	6. 既存製品の改良
	7. その他

問4 共同研究開発の成果として該当する番号を全て選んで下さい。(問2で1の回答者のみ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 試作品(プロトタイプ)を開発した。 | 8. 特許等により収入を得た。 |
| 2. 開発品の治験を行った。 | 9. 新たな会社を起業した。 |
| 3. 開発品に対し、薬事法の承認を得た。 | 10. 学会等で論文発表や口頭発表ができた。 |
| 4. 事業化に至り、売上を得た。 | 11. 学会等の賞を受賞した。 |
| 5. 事業化に至り、利益を得た。 | 12. 新たな人的ネットワークを形成できた。 |
| 6. 特許取得に至った。 | 13. その他 |
| 7. 企業に技術移転を行った。 | 14. 特に成果はなかった。 |

問5 共同研究開発における課題について該当する番号を優先順に5つまで選んで下さい。

- | |
|--|
| 1. 共同研究相手となる医療機関・従事者の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 2. 共同研究相手となる企業の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 3. 共同研究を行いたい医療機関・従事者に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 4. 共同研究を行いたい企業に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 5. 共同研究開発の内容・方法を決めることが困難である。 |
| 6. 研究開発のための資金確保が困難である。 |
| 7. 貴研究室に研究開発を担当できる研究者・技術者の人材が不足している。 |
| 8. 貴研究室に研究開発の企画・マネジメントを担当できる人材が不足している。 |
| 9. 共同研究開発のための場所や施設が不十分である。 |
| 10. 共同研究開発のための機械・測定器等が不十分である。 |
| 11. 倫理委員会をはじめ、医療機関内の事務が複雑で、時間や手間がかかる。 |
| 12. 研究開発製品にかかる薬事法上の許認可等の手続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 13. 治験の承認申請等の手続続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 14. 治療の保険適用にかかる承認申請等の手続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 15. 治験を行うにあたり、症例数を確保するのが困難である。 |
| 16. 研究開発成果の事業化を担う企業・技術移転先が見つからない。困難である。 |
| 17. 販売先を見つけることが困難である。 |
| 18. 研究開発成果(知的財産)の帰属・利用に関する取り決めが困難である。 |
| 19. その他 |
| 20. 特に不足は感じない。 |

問6 医療機関との共同研究開発について、今後のお考えに該当する番号を1つ選んで下さい。

(1) 上段、共同研究開発の経験のない方、(2) 下段、共同研究開発の経験のある方

(1)	<ol style="list-style-type: none">1. 医療機関と1対1による共同研究開発に取り組みたい。2. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。3. 共同研究開発にすぐに取り組むつもりはないが、情報は収集したい。4. 共同研究開発に関する公的機関の斡旋・サポート等があれば検討する。5. 医療機関との共同研究開発を全くする気がない。6. その他
(2)	<ol style="list-style-type: none">1. これまで以上に積極的に共同研究開発に取り組みたい。2. 現状の取り組みのレベルを維持したい。3. 現状の取り組みのレベルよりも縮小したい。4. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。5. 医療機関との共同研究開発を全くする気がない。6. その他

問7 (1) これまでに共同研究開発をしたことがある相手先

(2) 今後、希望される共同研究開発の相手先(優先順に3つまで)

として該当する番号を選んで下さい。

<ol style="list-style-type: none">1. 大学病院・独立行政法人病院の臨床医2. 1以外の医療機関の臨床医3. 臨床医以外の医療機関関係者4. 大学の理・工学・農学・薬学系研究者5. 独立行政法人や公設研究機関の研究者6. 医薬品・医療機器の製造業7. その他の製造業8. 医薬品・医療機器の製造販売業(卸売業)9. その他
--

医療機器・医薬品等の開発について

問8～11の設問に対し、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っている方におかれては、「(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものの両方についてお答え下さい。また、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っていない方におかれては、「(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものについてのみお答え下さい。

問8 今後のライフサイエンス分野（総合科学技術会議「科学技術に関する基本政策（平成23年7月29日）」を参考）のうち、あなたが（1）現在取り組んでいる、（2）今後取り組んでいきたい・興味がある 分野を優先順に5つまで選んでください。

1. 客観的根拠（エビデンス）に基づく生活習慣病予防
2. 疾患の予兆を発見し、先制介入治療による予防法
3. 大規模疫学研究のための医療情報の電子化、標準化、データベース化
4. 予防効果の高いワクチン
5. 認知症の発症防止・早期診断・進行の遅延技術
6. 早期診断に資する微量物質の同定技術・検出方法
7. 早期診断に資する新規マーカーの探索・同定技術
8. 小型で侵襲が少ない高性能の内視鏡
9. 3次元映像イメージング技術
10. 疾患や治療のメカニズムを解明する生命科学の基礎的研究
11. 核酸医薬治療法
12. ドラッグデリバリーシステム
13. 新規放射線治療機器
14. ロボット手術機器
15. 内視鏡と治療薬の融合による新規診断・治療
16. 遠隔診断・遠隔治療技術、診断画像処理技術
17. 再生医療（iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞等）
18. 生命動態システム科学研究
19. 生活支援ロボット、リハビリロボット
20. ブレインマシンインターフェース機器
21. 高齢者用パーソナルモビリティ
22. 身体機能を代償する技術、自立支援や生活支援を行う技術
23. 高度なコミュニケーション支援に関する技術
24. 終末期の苦痛を取り除く緩和医療
25. プラズマ技術を活用した医療関連技術（滅菌、殺菌、治療等）
26. その他
27. 特になし

問9 医療機器に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. X線機器及び画像診断システム
(例：診断用X線装置, 医用X線CT, 超音波画像診断装置, 磁気共鳴画像診断装置, 核医学装置, 骨密度測定装置、画像管理/処理システム, フィルムチェンジャ, 造影剤注入装置, 医用写真フィルム, X線防護用品 他)
2. 生体现象計測・監視システム
(例：体温計, 血圧計, 心電計及び関連機器, 脳波計, 筋電計, ICU/CCUモニタ, ベッドサイドモニタ, 新生児モニタ, 呼吸機能検査用機器, 視覚機能検査用機器, 医用内視鏡 他)
3. 医用検体検査機器
(例：臨床化学検査機器, 血液検査機器, 血清検査機器, 尿検査装置 他)
4. 処置用機器 (ディスプレイ、カテーテル含む)
(例：注射器具及び穿刺器具, チューブ及びカテーテル(血管用, 消化器用, 呼吸器用, 泌尿器用, PTCAカテーテル血管造影用カテーテル含む), 採血・輸血用, 輸液用器具及び医薬品注入器, 結さつ・縫合用器械器具, 外科・整形外科用手術材料 他)
5. 施設用機器
(例：診療施設用機械装置(手術台及び診療台, 照明器, 滅菌器, 消毒器, 洗浄機), 医療用噴霧・吸入器具 他)
6. 生体機能補助・代行機器
(例：人工心臓弁, ペースメーカ・植込み型除細動器及び関連機器, 人工血管, ステンツ, 人工関節, 眼内レンズ, 人工腎臓装置, 透析器, 人工心肺装置, 人工肺, 血液浄化器, 血液回路, 人工呼吸器, 酸素治療機器, 酸素供給装置, 麻酔器及び関連機器, 除細動器, 腹膜灌流用機器 他)
7. 治療用 (理学療法用含む) 機器・装置、手術用機器・装置
(例：放射性同位元素治療装置, 治療用粒子加速装置, レーザ治療器, 手術用電気機器, 手術用顕微鏡, 結石破碎装置, 理学療法用機械器具(低周波治療器), 温熱療法用機器, 運動療法用機械器具 他)
8. 鋼製器具
(例：切断, 絞断及び切削器具, 挟器, 鋭ひ及び鈍ひ, 整形外科手術用器械器具, 鉤・開創器・開孔器 他)
9. 歯科用品及び関連製品
(例：歯科診療用機器, 技工用機器, 矯正用器材, 人口歯, 歯冠材料, 義歯床材料, 接着・合着・充填材料, 印象材料, 歯科用金属, 歯科用インプラント 他)
10. 眼科用品及び関連製品
(例：視力補正用眼鏡, 特殊眼鏡, コンタクトレンズ, 検眼用品 他)
11. 衛生材料及び衛生用品
(例：不織布ガーゼ, 脱脂綿, 手術用手袋, 手術衣, 包帯, 避妊用具 他)
12. 家庭用医療機器
(例：家庭用マッサージ・治療浴用機器, 家庭用電気・光線治療器, 家庭用磁気・熱療法治療器, 家庭用吸入器, 家庭用医療用物質生成器, 補聴器, 家庭用衛生用品 他)
13. その他

問10 福祉用具に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. 訓練用具

(例：知覚訓練機器,視機能訓練用具,コミュニケーション治療・訓練用具,脊椎牽引療法用具,代替・補助コミュニケーション訓練用具,運動・筋力・バランス訓練器具,排泄訓練用具 他)

2. 床ずれ防止用具

(例：エアマット,床ずれ防止用具,クッション,床ずれ防止マットレス 他)

3. 義肢・装具及びかつら

4. 衣類関連用具

(例：衣類,下着,寝間着,リハビリシューズ,頭部保護帽,更衣用具,シーツ,枕 他)

5. トイレ・おむつ関連用具

(例：ポータブルトイレ,温水洗浄便座,特殊尿器,トイレ用具,採尿器,集尿器,おむつ,失禁パンツ 他)

6. 入浴用具

(例：福祉施設用入浴装置,簡易浴槽,入浴用手すり,バスボード,シャワーチェア 他)

7. 歩行用具

(例：杖,シルバーカー,歩行器,歩行車 他)

8. 車両関連

(例：福祉車両,自動車補助装置 他)

9. 車いす

(例：電動車いす,電動三(四)輪車,手動車いす,車いす付属品 他)

10. 移動・移乗関連用具

(例：移乗補助用具,体位変換器,リフト,ホームエレベータ,段差解消機,スロープ 他)

11. 家事用具

(例：炊事用具,食事用具,掃除用具 他)

12. 家具類

(例：テーブル,椅子,ベッド,家具高さ調節装置,手すり,座位保持装置,ドア・窓・カーテン開閉装置 他)

13. コミュニケーション関連用具

(例：視覚支援用具,聴覚支援用具,発声支援用具,描画用具,コンピュータ端末・入力装置 他)

14. その他

問 1 1 医薬品に関し、(1) 現在取り組んでいる、(2) 今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 中枢神経系用薬 | 19. 放射性医薬品 |
| 2. 末梢神経系用薬 | 20. アレルギー用薬 |
| 3. 感覚器官用薬 | 21. 生薬 |
| 4. 循環器官用薬 | 22. 漢方製剤 |
| 5. 呼吸器官用薬 | 23. その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 |
| 6. 消化器官用薬 | 24. 抗生物質製剤 |
| 7. ホルモン剤 | 25. 化学療法剤 |
| 8. 泌尿生殖器官及び肛門用薬 | 26. 生物学的製剤 |
| 9. 外皮用薬 | 27. 寄生動物用薬 |
| 10. 歯科口腔用薬 | 28. 調剤用薬 |
| 11. 個々の器官系用医薬品(その他) | 29. 診断用薬 |
| 12. ビタミン剤 | 30. 公衆衛生用薬 |
| 13. 滋養強壯薬 | 31. 体外診断用医薬品 |
| 14. 血液・体液用薬 | 32. その他の治療を主目的としない医薬品 |
| 15. 人工透析用薬 | 33. アルカロイド系麻薬 |
| 16. その他の代謝性医薬品 | 34. 非アルカロイド系麻薬 |
| 17. 細胞賦活用薬 | 35. 遺伝子治療 |
| 18. 腫瘍用薬 | 36. その他 |

愛知県の施策・支援事業について

問12 愛知県に期待する支援等について該当する番号を優先すべき順に5つまで選んで下さい。

1. 医療機関のニーズに関する情報の提供、ニーズ発表会の開催
2. 企業や大学のシーズに関する情報の提供、シーズ発表会の開催
3. 最新の医薬品・医療機器、治療、業界動向等の情報提供
4. 医薬品・医療機器業界への新規参入を促進するセミナーの開催
5. 薬事法等の医療系法制度にかかるセミナーの開催
6. 治験等にかかる相談窓口の設置
7. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた医療機関従事者とのマッチング
8. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた医療機関従事者等とのコンソーシアム・研究会の形成、運営
9. 医療関連分野における国内外トップレベル研究機関・研究者との交流・連携
10. 国プロジェクト等への獲得に向けたマネジメント
11. 先端的な研究開発を行う拠点、高度計測分析装置の整備
12. GMP/QMS省令対応の生産施設・設備の整備
13. 臨床研究・治験ネットワークの構築
14. 各種展示会への出展、学会への参加
15. 新たな国内販路の開拓
16. 新たな海外販路の開拓
17. 医療従事者と企業・工学系研究機関従事者との橋渡しを担うコーディネータの育成・配置
18. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の確保
19. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の育成
20. 知的財産の創造・保護等
21. 研究開発にかかる資金提供
22. 臨床試験・治験にかかる資金提供
23. 販路開拓にかかる資金提供
24. ベンチャー企業の育成/資金提供
25. その他

県内企業向け

貴企業の概要について

問1 貴企業の業種を以下の番号から1つ選んでください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 製造業（医薬品・医療機器等の製造販売業を含む） |
| 2. 卸売業・小売業 |
| 3. サービス業（卸売業・小売業を除く） |
| 4. その他 |

問2 貴企業の平成22年度末の資本金額を以下の番号から1つ選んで下さい。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1,000万円未満 | 4. 5,000万円～5,000万円未満 |
| 2. 1,000万円～2,000万円未満 | 5. 5,000万円～1億円未満 |
| 3. 2,000万円～3,000万円未満 | 6. 1億円～ |

問3 貴企業の平成22年度末の従業員数を以下の番号から1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 10人未満 | 4. 100人～300人未満 |
| 2. 10人～50人未満 | 5. 300人～500人未満 |
| 3. 50人～100人未満 | 6. 500人～ |

問4 貴企業の平成22年度の売上額（概算）を以下の番号から1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 1億円未満 | 4. 10億円～50億円未満 |
| 2. 1億円～5億円未満 | 5. 50億円～100億円未満 |
| 3. 5億円～10億円未満 | 6. 100億円～ |

問5 貴企業の平成22年度の総売上額に占める医薬品・医療機器・福祉用具に関する売上額の割合を以下の番号から1つ選んで下さい。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 0%～20%未満 | 4. 60%～80%未満 |
| 2. 20%～40%未満 | 5. 80%～100%未満 |
| 3. 40%～60%未満 | 6. 100% |

医療機関（病院、医院、診療所等）との共同研究開発の取組状況について

問6 医療機関と共同で研究開発を行った経験はありますか？

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある → 問7へ | 2. ない → 問9へ |
|-------------|-------------|

問7 共同研究開発を行う場合の主な目的に該当する番号を、優先順に3つまで選んで下さい。
(問6で1の回答者のみ)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 新たな基礎医学・基礎研究 | 4. 貴企業の技術シーズの高度化・新製品開発 |
| 2. 医師等のシーズ・アイデアによる医療技術の高度化開発 | 5. 貴企業が開発した新製品の評価・実証 |
| 3. 医師等のシーズ・アイデアによる新製品開発 | 6. 既存製品の改良 |
| | 7. その他 |

問8 共同研究開発の成果として該当する番号を全て選んで下さい。(問6で1の回答者のみ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 試作品(プロトタイプ)を開発した。 | 8. 特許等により収入を得た。 |
| 2. 開発品の治験を行った。 | 9. 新たな会社を起業した。 |
| 3. 開発品に対し、薬事法の承認を得た。 | 10. 学会等で論文発表や口頭発表ができた。 |
| 4. 事業化に至り、売上を得た。 | 11. 学会等の賞を受賞した。 |
| 5. 事業化に至り、利益を得た。 | 12. 新たな人的ネットワークを形成できた。 |
| 6. 特許取得に至った。 | 13. その他 |
| 7. 他社に技術移転を行った。 | 14. 特に成果はなかった。 |

問9 共同研究開発における課題について該当する番号を優先順に5つまで選んで下さい。

- | |
|--|
| 1. 共同研究相手となる医療機関・従事者の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 2. 共同研究相手となる工学系・農学系・薬学系研究者の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 3. 共同研究を行いたい医療機関・従事者に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 4. 共同研究を行いたい工学系・農学系・薬学系研究者に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 5. 共同研究開発の内容・方法を定めることが困難である。 |
| 6. 研究開発のための資金確保が困難である。 |
| 7. 貴企業に研究開発を担当できる研究者・技術者の人材が不足している。 |
| 8. 貴企業に研究開発の企画・マネジメントを担当できる人材が不足している。 |
| 9. 共同研究開発のための場所や施設が不十分である。 |
| 10. 共同研究開発のための機械・測定器等が不十分である。 |
| 11. 倫理委員会をはじめ、医療機関内の事務が繁雑で、時間や手間がかかる。 |
| 12. 研究開発製品にかかる薬事法上の許認可等の手続きが繁雑で、時間や経費がかかる。 |
| 13. 治験の承認申請等の手続きが繁雑で、時間や経費がかかる。 |
| 14. 治療の保険適用にかかる承認申請等の手続きが繁雑で、時間や経費がかかる。 |
| 15. 治験を行うにあたり、症例数を確保するのが困難である。 |
| 16. 研究開発成果の事業化を担う企業・技術移転先が見つからない。困難である。 |
| 17. 販売先を見つけることが困難である。 |
| 18. 研究開発成果(知的財産)の帰属・利用に関する取り決めが困難である。 |
| 19. その他 |
| 20. 特に不足は感じない。 |

問10 医療機関との共同研究開発について、今後のお考えに該当する番号を1つ選んで下さい。

(1) 上段、共同研究開発の経験のない企業、(2) 下段、共同研究開発の経験のある企業

(1)	<ol style="list-style-type: none">1. 医療機関と1対1による共同研究開発に取り組みたい。2. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。3. 共同研究開発にすぐに取り組むつもりはないが、情報は収集したい。4. 共同研究開発に関する公的機関の斡旋・サポート等があれば検討する。5. 医療機関との共同研究開発を全くする気がない。6. その他
(2)	<ol style="list-style-type: none">1. これまで以上に積極的に共同研究開発に取り組みたい。2. 現状の取り組みのレベルを維持したい。3. 現状の取り組みのレベルよりも縮小したい。4. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。5. 医療機関との共同研究開発を全くする気がない。6. その他

問11 (1) これまでに共同研究開発をしたことがある相手先

(2) 今後、希望される共同研究開発の相手先(優先順に3つまで)

として該当する番号を選んで下さい。

<ol style="list-style-type: none">1. 大学病院・独立行政法人病院の臨床医2. 1以外の医療機関の臨床医3. 臨床医以外の医療機関関係者4. 大学の理・工学・農学・薬学系研究者5. 独立行政法人や公設研究機関の研究者6. 医薬品・医療機器の製造業7. その他の製造業8. 医薬品・医療機器の製造販売業9. その他

医療機器・医薬品等の開発について

問12～15の設問に対し、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っている企業におかれては、「(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものの両方についてお答え下さい。また、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っていない企業におかれては、「(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものについてのみお答え下さい。

問12 今後のライフサイエンス分野（総合科学技術会議「科学技術に関する基本政策（平成23年7月29日）」を参考）のうち、貴社が（1）現在取り組んでいる、（2）今後取り組んでいきたい・興味がある 分野を優先順に5つまで選んでください。

1. 客観的根拠（エビデンス）に基づく生活習慣病予防
2. 疾患の予兆を発見し、先制介入治療による予防法
3. 大規模疫学研究のための医療情報の電子化、標準化、データベース化
4. 予防効果の高いワクチン
5. 認知症の発症防止・早期診断・進行の遅延技術
6. 早期診断に資する微量物質の同定技術・検出方法
7. 早期診断に資する新規マーカーの探索・同定技術
8. 小型で侵襲が少ない高性能の内視鏡
9. 3次元映像イメージング技術
10. 疾患や治療のメカニズムを解明する生命科学の基礎的研究
11. 核酸医薬治療法
12. ドラッグデリバリーシステム
13. 新規放射線治療機器
14. ロボット手術機器
15. 内視鏡と治療薬の融合による新規診断・治療
16. 遠隔診断・遠隔治療技術、診断画像処理技術
17. 再生医療（iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞等）
18. 生命動態システム科学研究
19. 生活支援ロボット、リハビリロボット
20. ブレインマシンインターフェース機器
21. 高齢者用パーソナルモビリティ
22. 身体機能を代償する技術、自立支援や生活支援を行う技術
23. 高度なコミュニケーション支援に関する技術
24. 終末期の苦痛を取り除く緩和医療
25. プラズマ技術を活用した医療関連技術（滅菌、殺菌、治療等）
26. その他
27. 特になし

問13 医療機器に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. X線機器及び画像診断システム
(例：診断用X線装置, 医用X線CT, 超音波画像診断装置, 磁気共鳴画像診断装置, 核医学装置, 骨密度測定装置、画像管理/処理システム, フィルムチェンジャ, 造影剤注入装置, 医用写真フィルム, X線防護用品 他)
2. 生体现象計測・監視システム
(例：体温計, 血圧計, 心電計及び関連機器, 脳波計, 筋電計, ICU/CCUモニタ, ベッドサイドモニタ, 新生児モニタ, 呼吸機能検査用機器, 視覚機能検査用機器, 医用内視鏡 他)
3. 医用検体検査機器
(例：臨床化学検査機器, 血液検査機器, 血清検査機器, 尿検査装置 他)
4. 処置用機器 (ディスプレイ、カテーテル含む)
(例：注射器具及び穿刺器具, チューブ及びカテーテル(血管用, 消化器用, 呼吸器用, 泌尿器用, PTCAカテーテル血管造影用カテーテル含む), 採血・輸血用, 輸液用器具及び医薬品注入器, 結さつ・縫合用器械器具, 外科・整形外科用手術材料 他)
5. 施設用機器
(例：診療施設用機械装置(手術台及び診療台, 照明器, 滅菌器, 消毒器, 洗浄機), 医療用噴霧・吸入器具 他)
6. 生体機能補助・代行機器
(例：人工心臓弁, ペースメーカ・植込み型除細動器及び関連機器, 人工血管, ステンント, 人工関節, 眼内レンズ, 人工腎臓装置, 透析器, 人工心肺装置, 人工肺, 血液浄化器, 血液回路, 人工呼吸器, 酸素治療機器, 酸素供給装置, 麻酔器及び関連機器, 除細動器, 腹膜灌流用機器 他)
7. 治療用 (理学療法用含む) 機器・装置、手術用機器・装置
(例：放射性同位元素治療装置, 治療用粒子加速装置, レーザー治療器, 手術用電気機器, 手術用顕微鏡, 結石破碎装置, 理学療法用機械器具(低周波治療器), 温熱療法用機器, 運動療法用機械器具 他)
8. 鋼製器具
(例：切断, 絞断及び切削器具, 挟器, 鋭ひ及び鈍ひ, 整形外科手術用器械器具, 鉤・開創器・開孔器 他)
9. 歯科用品及び関連製品
(例：歯科診療用機器, 技工用機器, 矯正用器材, 人口歯, 歯冠材料, 義歯床材料, 接着・合着・充填材料, 印象材料, 歯科用金属, 歯科用インプラント 他)
10. 眼科用品及び関連製品
(例：視力補正用眼鏡, 特殊眼鏡, コンタクトレンズ, 検眼用品 他)
11. 衛生材料及び衛生用品
(例：不織布ガーゼ, 脱脂綿, 手術用手袋, 手術衣, 包帯, 避妊用具 他)
12. 家庭用医療機器
(例：家庭用マッサージ・治療浴用機器, 家庭用電気・光線治療器, 家庭用磁気・熱療法治療器, 家庭用吸入器, 家庭用医療用物質生成器, 補聴器, 家庭用衛生用品 他)
13. その他

問14 福祉用具に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. 訓練用具
(例：知覚訓練機器,視機能訓練用具,コミュニケーション治療・訓練用具,脊椎牽引療法用具,代替・補助コミュニケーション訓練用具,運動・筋力・バランス訓練器具,排泄訓練用具 他)
2. 床ずれ防止用具
(例：エアマット,床ずれ防止用具,クッション,床ずれ防止マットレス 他)
3. 義肢・装具及びかつら
4. 衣類関連用具
(例：衣類,下着,寝間着,リハビリシューズ,頭部保護帽,更衣用具,シーツ,枕 他)
5. トイレ・おむつ関連用具
(例：ポータブルトイレ,温水洗浄便座,特殊尿器,トイレ用具,採尿器,集尿器,おむつ,失禁パンツ 他)
6. 入浴用具
(例：福祉施設用入浴装置,簡易浴槽,入浴用手すり,バスボード,シャワーチェア 他)
7. 歩行用具
(例：杖,シルバーカー,歩行器,歩行車 他)
8. 車両関連
(例：福祉車両,自動車補助装置 他)
9. 車いす
(例：電動車いす,電動三(四)輪車,手動車いす,車いす付属品 他)
10. 移動・移乗関連用具
(例：移乗補助用具,体位変換器,リフト,ホームエレベータ,段差解消機,スロープ 他)
11. 家事用具
(例：炊事用具,食事用具,掃除用具 他)
12. 家具類
(例：テーブル,椅子,ベッド,家具高さ調節装置,手すり,座位保持装置,ドア・窓・カーテン開閉装置 他)
13. コミュニケーション関連用具
(例：視覚支援用具,聴覚支援用具,発声支援用具,描画用具,コンピュータ端末・入力装置 他)
14. その他

問15 医薬品に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 中枢神経系用薬 | 19. 放射性医薬品 |
| 2. 末梢神経系用薬 | 20. アレルギー用薬 |
| 3. 感覚器官用薬 | 21. 生薬 |
| 4. 循環器官用薬 | 22. 漢方製剤 |
| 5. 呼吸器官用薬 | 23. その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 |
| 6. 消化器官用薬 | 24. 抗生物質製剤 |
| 7. ホルモン剤 | 25. 化学療法剤 |
| 8. 泌尿生殖器官及び肛門用薬 | 26. 生物学的製剤 |
| 9. 外皮用薬 | 27. 寄生動物用薬 |
| 10. 歯科口腔用薬 | 28. 調剤用薬 |
| 11. 個々の器官系用医薬品(その他) | 29. 診断用薬 |
| 12. ビタミン剤 | 30. 公衆衛生用薬 |
| 13. 滋養強壯薬 | 31. 体外診断用医薬品 |
| 14. 血液・体液用薬 | 32. その他の治療を主目的としない医薬品 |
| 15. 人工透析用薬 | 33. アルカロイド系麻薬 |
| 16. その他の代謝性医薬品 | 34. 非アルカロイド系麻薬 |
| 17. 細胞賦活用薬 | 35. 遺伝子治療 |
| 18. 腫瘍用薬 | 36. その他 |

愛知県の施策・支援事業について

問16 愛知県に期待する支援等について該当する番号を優先すべき順に5つまで選んで下さい。

1. 医療機関のニーズに関する情報の提供、ニーズ発表会の開催
2. 企業や大学のシーズに関する情報の提供、シーズ発表会の開催
3. 最新の医薬品・医療機器、治療、業界動向等の情報提供
4. 医薬品・医療機器業界への新規参入を促進するセミナーの開催
5. 薬事法等の医療系法制度にかかるセミナーの開催
6. 治験等にかかる相談窓口の設置
7. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた医療機関従事者とのマッチング
8. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた医療機関従事者等とのコンソーシアム・研究会の形成、運営
9. 医療関連分野における国内外トップレベル研究機関・研究者との交流・連携
10. 国プロジェクト等への獲得に向けたマネジメント
11. 先端的な研究開発を行う拠点、高度計測分析装置の整備
12. GMP/QMS省令対応の生産施設・設備の整備
13. 臨床研究・治験ネットワークの構築
14. 各種展示会への出展、学会への参加
15. 新たな国内販路の開拓
16. 新たな海外販路の開拓
17. 医療従事者と企業・工学系研究機関従事者との橋渡しを担うコーディネータの育成・配置
18. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の確保
19. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の育成
20. 知的財産の創造・保護等
21. 研究開発にかかる資金提供
22. 臨床試験・治験にかかる資金提供
23. 販路開拓にかかる資金提供
24. ベンチャー企業の育成/資金提供
25. その他

県内医療機関従事者向け

あなたのプロフィールについて

問1 あなたの職名についてお聞きします。該当する番号を1つ選んで下さい。

1. 臨床医	11. 管理栄養士
2. 研究医	12. 言語聴覚士
3. 研修医	13. 視能訓練士
4. 歯科医	14. 義肢装具士
5. 看護師	15. 歯科衛生士
6. 診療放射線技師	16. 保健師
7. 臨床工学技士	17. 助産師
8. 理学療法士	18. 衛生検査技師
9. 作業療法士	19. 救急救命士
10. 臨床心理士	20. その他

問2 あなたの主たる業務・研究分野についてお聞きします。該当する番号を1つ選んで下さい。

1. 基礎医学	6. 看護学
2. 神経科学	7. 境界医学・社会医学
3. 内科系臨床医学	8. 実験動物学
4. 外科系臨床医学	9. その他
5. 歯学	

企業や工学系大学・研究機関研究者との共同研究開発の取組状況について

問3 企業や工学系大学・研究機関研究者と共同で研究開発を行った経験はありますか？

1. ある → 問4へ	2. ない → 問6へ
-------------	-------------

問4 共同研究開発を行う場合の主な目的に該当する番号を、優先順に3つまで選んで下さい。

(問3で1の回答者のみ)

1. 新たな基礎医学・基礎研究	4. 貴企業の技術シーズの高度化・新製品開発
2. 医師等のシーズ・アイデアによる医療技術の高度化開発	5. 貴企業が開発した新製品の評価・実証
3. 医師等のシーズ・アイデアによる新製品開発	6. 既存製品の改良
	7. その他

問5 共同研究開発の成果として該当する番号を全て選んで下さい。(問3で1の回答者のみ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 試作品(プロトタイプ)を開発した。 | 8. 特許等により収入を得た。 |
| 2. 開発品の治験を行った。 | 9. 新たな会社を起業した。 |
| 3. 開発品に対し、薬事法の承認を得た。 | 10. 学会等で論文発表や口頭発表ができた。 |
| 4. 事業化に至り、売上を得た。 | 11. 学会等の賞を受賞した。 |
| 5. 事業化に至り、利益を得た。 | 12. 新たな人的ネットワークを形成できた。 |
| 6. 特許取得に至った。 | 13. その他 |
| 7. 企業に技術移転を行った。 | 14. 特に成果はなかった。 |

問6 共同研究開発における課題について該当する番号を優先順に5つまで選んで下さい。

- | |
|--|
| 1. 共同研究相手となる工学系・農学系・薬学系研究者の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 2. 共同研究相手となる企業の見つけ方がわからない。困難である。 |
| 3. 共同研究を行いたい工学系・農学系・薬学系研究者に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 4. 共同研究を行いたい企業に依頼する方法がわからない。困難である。 |
| 5. 共同研究開発の内容・方法を決めることが困難である。 |
| 6. 研究開発のための資金確保が困難である。 |
| 7. 貴医療機関・研究室に研究開発を担当できる研究者・技術者の人材が不足している。 |
| 8. 貴医療機関・研究室に研究開発の企画・マネジメントを担当できる人材が不足している。 |
| 9. 共同研究開発のための場所や施設が不十分である。 |
| 10. 共同研究開発のための機械・測定器等が不十分である。 |
| 11. 倫理委員会をはじめ、医療機関内の事務が複雑で、時間や手間がかかる。 |
| 12. 研究開発製品にかかる薬事法上の許認可等の手続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 13. 治験の承認申請等の手続続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 14. 治療の保険適用にかかる承認申請等の手続きが複雑で、時間や経費がかかる。 |
| 15. 治験を行うにあたり、症例数を確保するのが困難である。 |
| 16. 研究開発成果の事業化を担う企業・技術移転先が見つからない。困難である。 |
| 17. 販売先を見つけることが困難である。 |
| 18. 研究開発成果(知的財産)の帰属・利用に関する取り決めが困難である。 |
| 19. その他 |
| 20. 特に不足は感じない。 |

問7 共同研究開発について、今後のお考えに該当する番号を1つ選んで下さい。

(1) 上段、共同研究開発の経験のない方、(2) 下段、共同研究開発の経験のある方

(1)	<ol style="list-style-type: none">1. 企業や工学系大学・研究機関研究者と1対1による共同研究開発に取り組みたい。2. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。3. 共同研究開発にすぐに取り組むつもりはないが、情報は収集したい。4. 共同研究開発に関する公的機関の斡旋・サポート等があれば検討する。5. 共同研究開発を全くする気がない。6. その他
(2)	<ol style="list-style-type: none">1. これまで以上に積極的に共同研究開発に取り組みたい。2. 現状の取り組みのレベルを維持したい。3. 現状の取り組みのレベルよりも縮小したい。4. 複数の参加者が構成するコンソーシアムによる研究プロジェクトに参画したい。5. 共同研究開発を全くする気がない。6. その他

問8 (1) これまでに共同研究開発をしたことがある相手先

(2) 今後、希望される共同研究開発の相手先(優先順に3つまで)

として該当する番号を選んで下さい。

<ol style="list-style-type: none">1. 大学病院・独立行政法人病院の臨床医2. 1以外の医療機関の臨床医3. 臨床医以外の医療機関関係者4. 大学の理・工学・農学・薬学系研究者5. 独立行政法人や公設研究機関の研究者6. 医薬品・医療機器の製造業7. その他の製造業8. 医薬品・医療機器の製造販売業(卸売業)9. その他
--

医療機器・医薬品等の開発について

問9～12の設問に対し、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っている方におかれては、「(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものの両方についてお答え下さい。また、現在、医療機器や医薬品等の取組を行っていない方におかれては、「(2)今後取り組んでいきたい・興味がある」ものについてのみお答え下さい。

問9 今後のライフサイエンス分野（総合科学技術会議「科学技術に関する基本政策（平成23年7月29日）」を参考）のうち、あなたが（1）現在取り組んでいる、（2）今後取り組んでいきたい・興味がある 分野を優先順に5つまで選んでください。

1. 客観的根拠（エビデンス）に基づく生活習慣病予防
2. 疾患の予兆を発見し、先制介入治療による予防法
3. 大規模疫学研究のための医療情報の電子化、標準化、データベース化
4. 予防効果の高いワクチン
5. 認知症の発症防止・早期診断・進行の遅延技術
6. 早期診断に資する微量物質の同定技術・検出方法
7. 早期診断に資する新規マーカーの探索・同定技術
8. 小型で侵襲が少ない高性能の内視鏡
9. 3次元映像イメージング技術
10. 疾患や治療のメカニズムを解明する生命科学の基礎的研究
11. 核酸医薬治療法
12. ドラッグデリバリーシステム
13. 新規放射線治療機器
14. ロボット手術機器
15. 内視鏡と治療薬の融合による新規診断・治療
16. 遠隔診断・遠隔治療技術、診断画像処理技術
17. 再生医療（iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞等）
18. 生命動態システム科学研究
19. 生活支援ロボット、リハビリロボット
20. ブレインマシンインターフェース機器
21. 高齢者用パーソナルモビリティ
22. 身体機能を代償する技術、自立支援や生活支援を行う技術
23. 高度なコミュニケーション支援に関する技術
24. 終末期の苦痛を取り除く緩和医療
25. プラズマ技術を活用した医療関連技術（滅菌、殺菌、治療等）
26. その他
27. 特になし

問10 医療機器に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. X線機器及び画像診断システム
(例：診断用X線装置, 医用X線CT, 超音波画像診断装置, 磁気共鳴画像診断装置, 核医学装置, 骨密度測定装置、画像管理/処理システム, フィルムチェンジャ, 造影剤注入装置, 医用写真フィルム, X線防護用品 他)
2. 生体现象計測・監視システム
(例：体温計, 血圧計, 心電計及び関連機器, 脳波計, 筋電計, ICU/CCUモニタ, ベッドサイドモニタ, 新生児モニタ, 呼吸機能検査用機器, 視覚機能検査用機器, 医用内視鏡 他)
3. 医用検体検査機器
(例：臨床化学検査機器, 血液検査機器, 血清検査機器, 尿検査装置 他)
4. 処置用機器 (ディスプレイ、カテーテル含む)
(例：注射器具及び穿刺器具, チューブ及びカテーテル(血管用, 消化器用, 呼吸器用, 泌尿器用, PTCAカテーテル血管造影用カテーテル含む), 採血・輸血用, 輸液用器具及び医薬品注入器, 結さつ・縫合用器械器具, 外科・整形外科用手術材料 他)
5. 施設用機器
(例：診療施設用機械装置(手術台及び診療台, 照明器, 滅菌器, 消毒器, 洗浄機), 医療用噴霧・吸入器具 他)
6. 生体機能補助・代行機器
(例：人工心臓弁, ペースメーカ・植込み型除細動器及び関連機器, 人工血管, ステンツ, 人工関節, 眼内レンズ, 人工腎臓装置, 透析器, 人工心肺装置, 人工肺, 血液浄化器, 血液回路, 人工呼吸器, 酸素治療機器, 酸素供給装置, 麻酔器及び関連機器, 除細動器, 腹膜灌流用機器 他)
7. 治療用 (理学療法用含む) 機器・装置、手術用機器・装置
(例：放射性同位元素治療装置, 治療用粒子加速装置, レーザ治療器, 手術用電気機器, 手術用顕微鏡, 結石破碎装置, 理学療法用機械器具(低周波治療器), 温熱療法用機器, 運動療法用機械器具 他)
8. 鋼製器具
(例：切断, 絞断及び切削器具, 挟器, 鋭ひ及び鈍ひ, 整形外科手術用器械器具, 鉤・開創器・開孔器 他)
9. 歯科用品及び関連製品
(例：歯科診療用機器, 技工用機器, 矯正用器材, 人口歯, 歯冠材料, 義歯床材料, 接着・合着・充填材料, 印象材料, 歯科用金属, 歯科用インプラント 他)
10. 眼科用品及び関連製品
(例：視力補正用眼鏡, 特殊眼鏡, コンタクトレンズ, 検眼用品 他)
11. 衛生材料及び衛生用品
(例：不織布ガーゼ, 脱脂綿, 手術用手袋, 手術衣, 包帯, 避妊用具 他)
12. 家庭用医療機器
(例：家庭用マッサージ・治療浴用機器, 家庭用電気・光線治療器, 家庭用磁気・熱療法治療器, 家庭用吸入器, 家庭用医療用物質生成器, 補聴器, 家庭用衛生用品 他)
13. その他

問 1 1 福祉用具に関し、(1) 現在取り組んでいる、(2) 今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に 5 つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

1. 訓練用具
(例：知覚訓練機器, 視機能訓練用具, コミュニケーション治療・訓練用具, 脊椎牽引療法用具, 代替・補助コミュニケーション訓練用具, 運動・筋力・バランス訓練器具, 排泄訓練用具 他)
2. 床ずれ防止用具
(例：エアマット, 床ずれ防止用具, クッション, 床ずれ防止マットレス 他)
3. 義肢・装具及びかつら
4. 衣類関連用具
(例：衣類, 下着, 寝間着, リハビリシューズ, 頭部保護帽, 更衣用具, シーツ, 枕 他)
5. トイレ・おむつ関連用具
(例：ポータブルトイレ, 温水洗浄便座, 特殊尿器, トイレ用具, 採尿器, 集尿器, おむつ, 失禁パンツ 他)
6. 入浴用具
(例：福祉施設用入浴装置, 簡易浴槽, 入浴用手すり, バスボード, シャワーチェア 他)
7. 歩行用具
(例：杖, シルバーカー, 歩行器, 歩行車 他)
8. 車両関連
(例：福祉車両, 自動車補助装置 他)
9. 車いす
(例：電動車いす, 電動三(四)輪車, 手動車いす, 車いす付属品 他)
10. 移動・移乗関連用具
(例：移乗補助用具, 体位変換器, リフト, ホームエレベータ, 段差解消機, スロープ 他)
11. 家事用具
(例：炊事用具, 食事用具, 掃除用具 他)
12. 家具類
(例：テーブル, 椅子, ベッド, 家具高さ調節装置, 手すり, 座位保持装置, ドア・窓・カーテン開閉装置 他)
13. コミュニケーション関連用具
(例：視覚支援用具, 聴覚支援用具, 発声支援用具, 描画用具, コンピュータ端末・入力装置 他)
14. その他

問12 医薬品に関し、(1)現在取り組んでいる、(2)今後取り組んでいきたい・興味がある製品を優先順に5つまで選んでください。さらに具体的な内容もお書き下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 中枢神経系用薬 | 19. 放射性医薬品 |
| 2. 末梢神経系用薬 | 20. アレルギー用薬 |
| 3. 感覚器官用薬 | 21. 生薬 |
| 4. 循環器官用薬 | 22. 漢方製剤 |
| 5. 呼吸器官用薬 | 23. その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 |
| 6. 消化器官用薬 | 24. 抗生物質製剤 |
| 7. ホルモン剤 | 25. 化学療法剤 |
| 8. 泌尿生殖器官及び肛門用薬 | 26. 生物学的製剤 |
| 9. 外皮用薬 | 27. 寄生動物用薬 |
| 10. 歯科口腔用薬 | 28. 調剤用薬 |
| 11. 個々の器官系用医薬品(その他) | 29. 診断用薬 |
| 12. ビタミン剤 | 30. 公衆衛生用薬 |
| 13. 滋養強壯薬 | 31. 体外診断用医薬品 |
| 14. 血液・体液用薬 | 32. その他の治療を主目的としない医薬品 |
| 15. 人工透析用薬 | 33. アルカロイド系麻薬 |
| 16. その他の代謝性医薬品 | 34. 非アルカロイド系麻薬 |
| 17. 細胞賦活用薬 | 35. 遺伝子治療 |
| 18. 腫瘍用薬 | 36. その他 |

愛知県の施策・支援事業について

問13 愛知県に期待する支援等について該当する番号を優先すべき順に5つまで選んで下さい。

1. 医療機関のニーズに関する情報の提供、ニーズ発表会の開催
2. 企業や大学のシーズに関する情報の提供、シーズ発表会の開催
3. 最新の医薬品・医療機器、治療、業界動向等の情報提供
4. 医薬品・医療機器業界への新規参入を促進するセミナーの開催
5. 薬事法等の医療系法制度にかかるセミナーの開催
6. 治験等にかかる相談窓口の設置
7. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた企業・工学系研究者等とのマッチング
8. 新しい医療機器・医薬品等の開発に向けた企業・工学系研究者等とのコンソーシアム・研究会の形成、運営
9. 医療関連分野における国内外トップレベル研究機関・研究者との交流・連携
10. 国プロジェクト等への獲得に向けたマネジメント
11. 先端的な研究開発を行う拠点、高度計測分析装置の整備
12. GMP/QMS省令対応の生産施設・設備の整備
13. 臨床研究・治験ネットワークの構築
14. 各種展示会への出展、学会への参加
15. 新たな国内販路の開拓
16. 新たな海外販路の開拓
17. 医療従事者と企業・工学系研究機関従事者との橋渡しを担うコーディネータの育成・配置
18. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の確保
19. 企業の研究開発・技術開発にかかる人材の育成
20. 知的財産の創造・保護等
21. 研究開発にかかる資金提供
22. 臨床試験・治験にかかる資金提供
23. 販路開拓にかかる資金提供
24. ベンチャー企業の育成/資金提供
25. その他